

## 事例検討シート（記入例）

①子どもの状況

① 対象の児童生徒の状況について保護者等からの聞き取りに基づきまとめます。  
(例)「トイレに一人で行く」、「特定のアニメに興味がある」、「手先が不器用ではさみの使用が難しい」、「先生の話聞いて理解できない」、「板書をノートに書き写すことができる」など。

③どのように支援するか

④ 検査全体を通して考えられることを踏まえ、指導や支援の具体的な内容について、記載します。  
(例)「ノートに書き写すことに時間が掛かることから、取り組む課題の数を調整する」など。

②検査結果から

② 検査結果や取組の様子から得られた結果を踏まえ、日常生活上で考えられる得意な部分や困難さについてまとめる。  
(例)「5歳級は難しいが、3歳級の問題であれば実力を発揮できる」。  
『語彙(絵)』や『短文の復唱』、『位置の記憶』、『順序の記憶』が不合格であることから、絵を認知することや記憶問題が苦手であると考えられる」など。

※検査時の様子

③ 検査を通して見られた児童生徒の様子を具体的に記入します。  
(例)「『短文の復唱』では、文を復唱することから離れて興味のあることを話し出した」、「『数概念(10個まで)』では、相談担当者の顔色を見て不安げに回答したり、「こう?」と確認したりしていた」など。

④協議で参考になったこと